

扱いなどあらゆる警察活動を通じて、不法滞在等の実態把握に努めるとともに、捜査体制の充実も図りながら、不法滞在外国人等の検挙や摘発を強化しています。今後も、法務省入国管理局との合同摘発等をはじめ、関係機関とも連携しながら、引き続き、不法滞在者対策に取り組みます。

●その他の質問事項
徳山ダム
他

県産材の需要拡大を

循環型社会と二十一世紀の森林づくり

森本 哲生 議員
新政みえ(松阪市・飯南郡選出)

問

県の総合計画「県民しあわせプラン」では、「持続可能な循環型社会の創造」を基本政策のひとつに掲げています。これには様々な分野での取組が必要ですが、特に、森林の持つ多面的機能と、それを支える林業振興が大きく貢献するものです。私もこれまで、そうした観点からも、間伐の必要性、木材の利用促進や林業の担い手の育成などについて、政策提言を重ねてきたところです。さらに、国産材消費拡大の最大の決め手は木造住宅の建設にありと訴えてきたところです。しかし、県産材の需要拡大の促進を目的とした木材住宅建設に対する県の低利融資制度の利用が、平成十五年度に大きく落ち込んでいます。そこで、その原因と今後の対応策についてお聞きします。

答

木材住宅建設に対する融資制度については、景気の低迷などによる木造住宅着工戸数の減少

と、金利面で金融機関独自のローン商品と競合したことなどにより、最近二カ年の利用件数は大幅に減少しています。この融資制度とともに、今年度からは、「県民しあわせプラン」の重点プログラムにおいて、県産のスギ材材を無償で提供し、県産材利用についての情報を提供いただくモニターを募集することとしており、消費者の方々に広く県産材の良さを知っていただき、住宅等へより多く利用していただけるよう取り組んでいきます。今後は、この融資制度の有効性を検証するとともに、消費者が県産材の良さを認識でき、その需要拡大につながる制度を総合的に検証していきます。

●その他の質問事項
企業経営と外国人労働力
他



各学校に栄養教諭の配置を

三重の食育

森下 隆生 議員
新政みえ(伊勢市選出)

問

食に関する教育は、子どもたちに望ましい食習慣を形成するものですが、その食育からは、食の安全、健康、ごみゼロ問題や食べる



●その他の質問事項
進む合併と地域づくり

答

国の制度改正を受け、今後、県教育委員会では、学校において、どのような形で指導を行っていくことが望ましいのか、職員定数に制約がある中、実際に学校にいつ、どのように配置していくのか、学校栄養職員の免許取得をどのように進めていくのかなどについて、市町村教育委員会とも十分に協議しながら検討し、導入の準備を進めていきたいと考えています。

障害者の「住まい」

三重の「住まい」(スマイルプラン)

中森 博文 議員
自民・無所属公明議員団(名張市選出)

問

昨年支援費制度がスタートして一年が経過しましたが、ホームヘルプやグループホームなど、地域生活を支える居宅サービスの利用が予想以上に大きく伸びています。県が策定した三重県障害者プラン(2011)でも、グループホームの利用者数が計画の数値目標として使われています。このグループホームは、知的障害者の方の地域における生活の場の一つとしてたいへん重要なものです。そこで、一層の整備促進を図るため、施設整備補助の創設が必要であると考えますが、その取組をお聞きします。また、肉親が亡くなられてからも地域社会で安心して暮らせるよう、高齢者向け知的障害者グループホームの整備が是非とも必要だと考えますが、所見をお聞きします。

答

県では、在宅障害者の体験入居の場や地域交流スペースとして居の機能をあわせもつた多機能型知的障害者グループホームの整備を行う県単独補助制度を昨年度に創設しました。当面、この設置を促進していきたいと考えていますが、グループホームの一層の整備促進を図るためには、国の補助制度も有効な手段と考えており、制度の創設について国へ要望していきます。なお、利用者が高齢となっても、グループホームでは世話人やバックアップ体制が整備されており、引き続き利用者個々の状態に合わせた支援を受けることができますが、指摘の高齢者の知的障害者ク